

危険です！スプレー缶



「もやせないごみ」回収時にごみ収集車の火災事故発生！

スプレー缶を「もやせないごみ袋」で出すと、ごみ収集車の火災原因となります。

みなさんのごみの出し方ひとつで、大変危険な事態となり、責任を問われることもあります。

スプレー缶は必ず、「かんの日」に出しましょう。



中身が残ったままのスプレー缶をごみで出すと、収集処理で圧縮された時に容器が破裂し、金属同士の火花等で引火して爆発、火災に至ります。

スプレー缶の捨て方

1. 中身を使い切り、残っていないことを確認



2. 缶に穴をあけずに、残っているガスを抜く



3. 「かんの日」に出す



スプレー缶ってどんなもの？

- ・カセットボンベ
- ・整髪、消臭、化粧、制汗、塗料、潤滑、消炎、殺虫などに使われるスプレー缶

※これらは「エアソール缶」といい、可燃性ガスが充填されています。

問合せ先

町民課生活環境担当

62-2054 (内線 237)

スプレー缶は「もやせないごみ」ではありません！